

クラスター	炎症・免疫系クラスター			
授業科目名	免疫学・実習			
担当者名	責任者	石井 聡	分担者	植木 重治
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

授業の概要・到達目標

授業の到達目標: 免疫調節機構およびアレルギー疾患について理解することを目的とする。

授業の概要:

1～5. 適応免疫反応は樹状細胞によって惹起される。樹状細胞による巧妙な免疫調節機構を分子レベル、細胞レベル、さらには個体レベルで学習する。(担当: 石井)

6～10. 免疫系のバランス異常によって、自己免疫性疾患やアレルギー疾患が生じると考えられ、その主要担当細胞にはリンパ球や好酸球などの顆粒球が挙げられる。授業では、好酸球をはじめとした炎症細胞の関与する呼吸器疾患を中心に実際の症例を交え、それに関わるケモカイン・接着分子などの分子群について、免疫・アレルギー疾患の細胞生物学的メカニズムまで理解を深める。(担当: 植木)

授業計画

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	樹状細胞を中心とした免疫系の理解	石井 聡	生体防御学 〔講座研究室〕
2			
3			
4			
5			
6	好酸球を中心とした顆粒球と炎症病態の理解	植木 重治	総合診療・検査 診断学 〔講座研究室〕
7			
8			
9			
10			

授業形態および成績の評価方法・基準

研究室での講義30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果、提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

石井 聡, satishii@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。